

# 火災統計



# 火災統計

## 火災件数

平成24年中、小牧市で発生した火災件数は69件で、前年と比べ6件の減少となりました。

種別ごとでは、建物火災38件（2件の増）、車両火災5件（4件の減）、林野火災1件（同件数）、その他火災25件（4件の減）となっています。

また、建物火災38件のうち住宅火災の占める割合は、17件で全体の約45%と非常に高くなっています。

住宅防火対策については、平成23年6月から全国すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられており、設置率向上のため、防火広報や各種イベントへ参加するなど、あらゆる機会を捉え、幅広い普及啓発を実施しています。

## 火災原因

出火原因別を見ると、「こんろ」9件（約13%）、「放火」8件（約11%）、「たき火」6件（約8%）、の順になっています。

また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると10件（約14%）で、前年と比べ1件の増加となりました。

## 火災損害

火災による損害額は、215,297千円で、前年と比べ84,468千円（約28%）の減少となりました。

また、火災による死者は3名と前年に比べ1名の増加となり、負傷者は19名（30日死者1名含む）と前年に比べ11名の増加となりました。

※30日死者とは火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内になくなった方。

## 火災件数及び損害額の推移

(平成15年～24年)

区分 年別	火災件数 (件)	火災件数内訳				損害額 (千円)	死者		負傷者
		建物	林野	車両	その他		48時間	30日	
15年	93	41	2	18(3)	32	83,896	1		15
16年	107	45	1	29(2)	32	213,338	2		13
17年	64	42	1	9(3)	12	113,127	3		7
18年	81	43	3	11	24	57,110	1	1	9
19年	63	28	2	9(3)	24	765,228			10
20年	66	35	2	10	19	57,236			16
21年	76	39	1	11(1)	25	144,987	2	2	12
22年	88	42		15(3)	31	48,929			17
23年	75	36	1	9(1)	29	299,765	2		8
24年	69	38	1	5	25	215,297	3	1	19

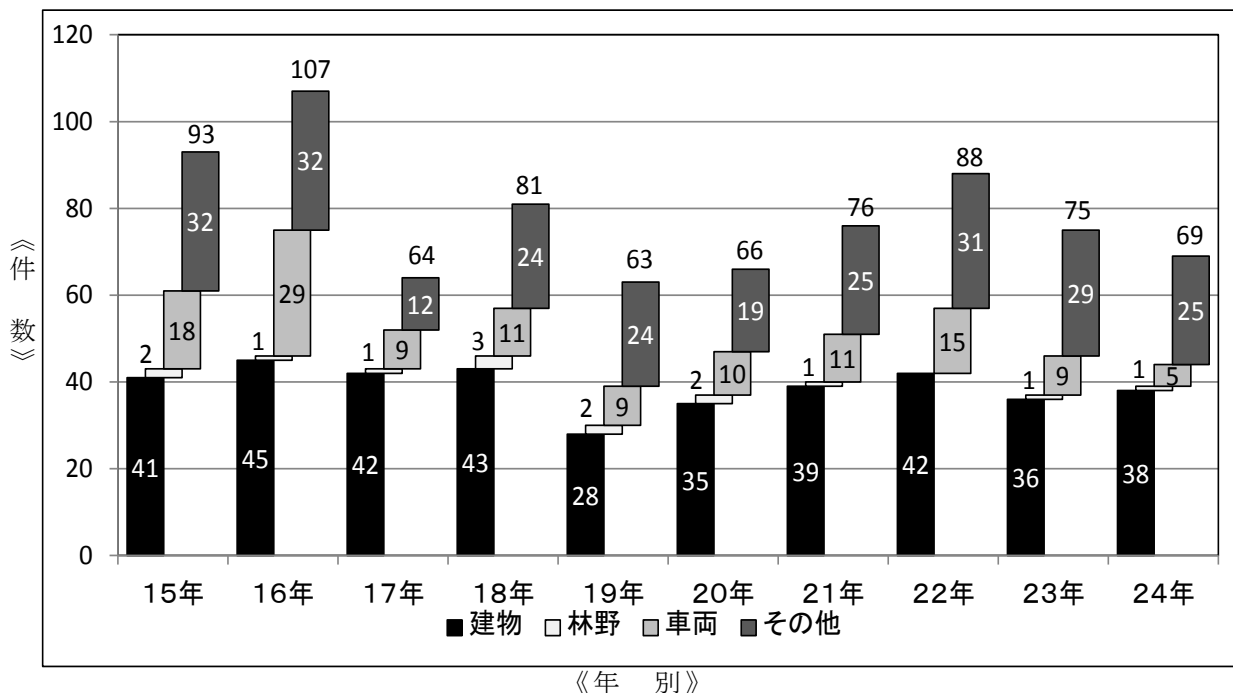
※30日死者とは火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に亡くなった方。

負傷者に、30日死者含む。

( )内は、高速道路上で起きた火災であり、内数とする。

## 火災種別と推移

(平成15年～24年)

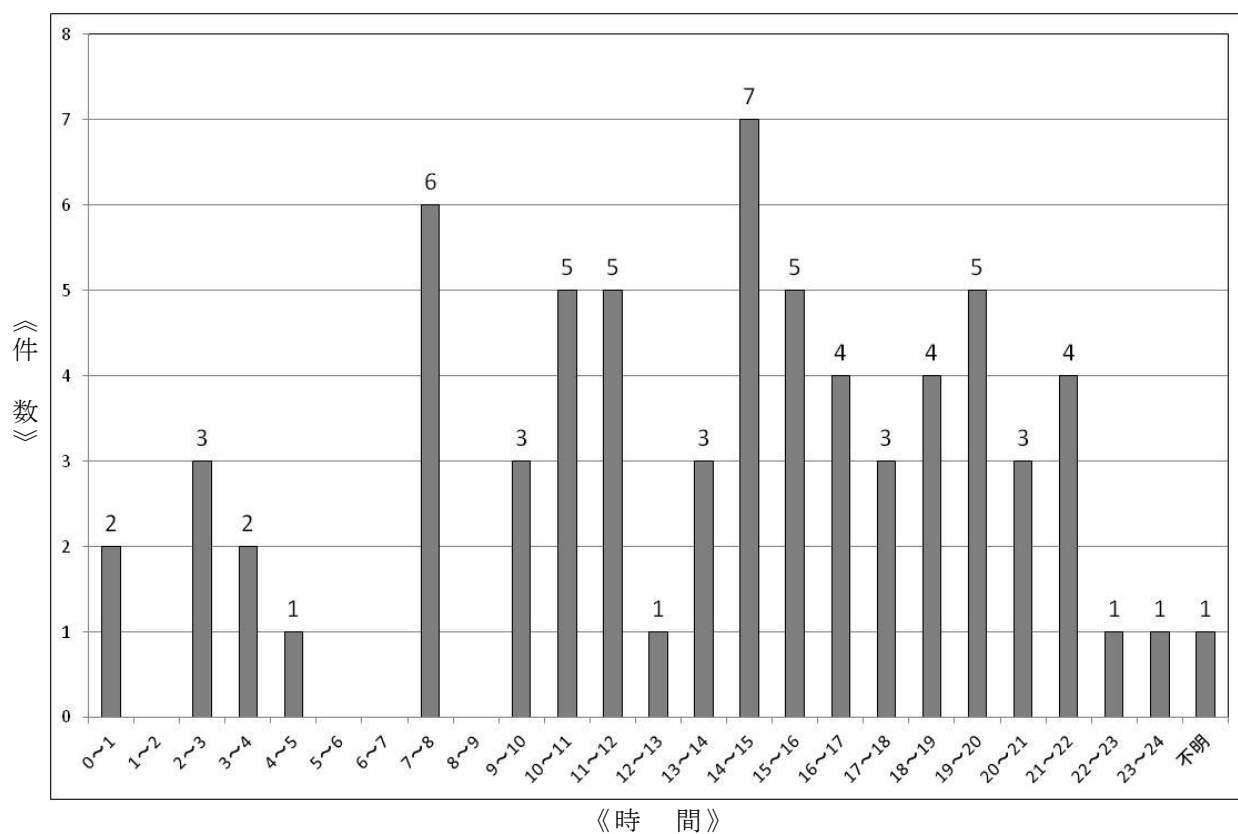


# 月別火災状況

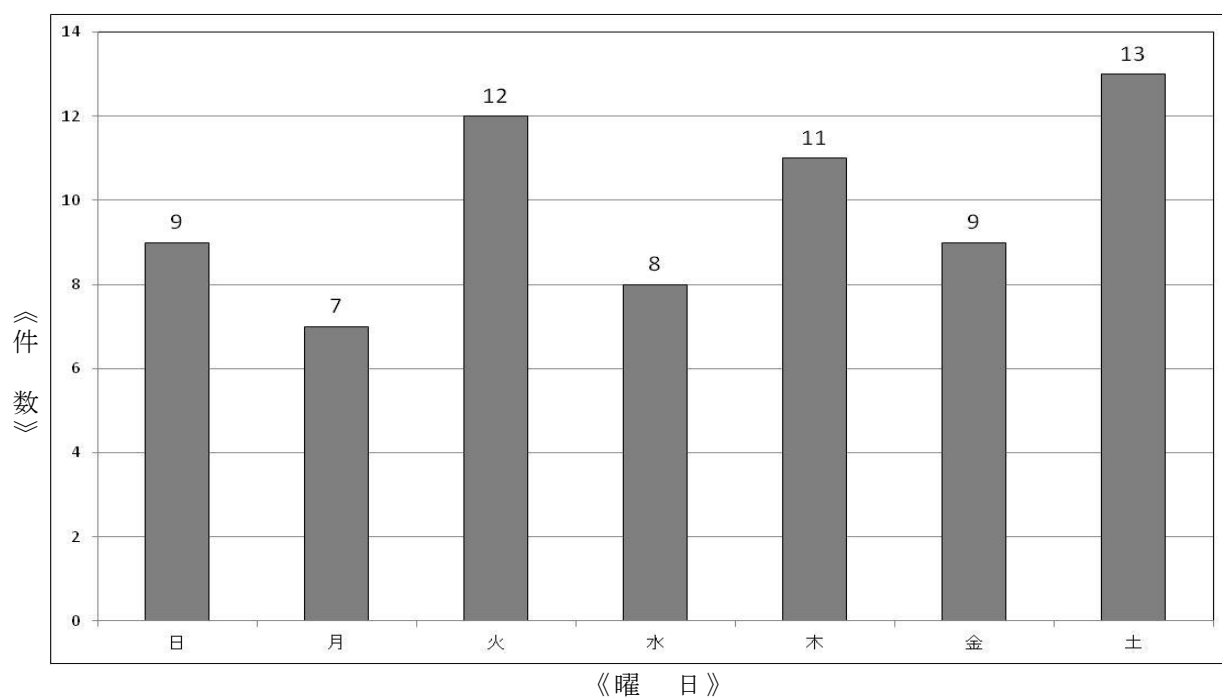
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火件数	建 物	2	1	3	5	4		4	2	5	3	2	7	38
	林 野										1			1
	車 両			2					1			1	1	5
	船 舶													
	航空機													
	その他	3	1	2	3	4	1	3		3	3		2	25
	計	5	2	7	8	8	1	7	3	8	7	3	10	69
焼損棟数	全 焼			1	3				1		1			6
	半 焼					1								1
	部分焼			5	1	2				2	2		1	13
	ほ や	2	1	1	2	2		3	1	3	1	2	6	24
	計	2	1	7	6	5		3	2	5	4	2	7	44
焼損面積	建物床面積 (㎡)			249	40	1,617			12	2	525	1	5	2,451
	建物表面積 (㎡)			23	4			2		34	3		1	67
	林野 (a)										6			6
死者負傷者	死者(48h)	1			1								1	3
	死者(30日)								1					1
	負傷者	1			4	3		1	1		2	4	3	19
り災世帯数	全 損					1								1
	半 損													
	小 損	1	1	2		2		2	1	2	1	2	5	19
	計	1	1	2		3		2	1	2	1	2	5	20
り災人員		2	4	9		11		7	2	5	4	6	10	60
物件別損害額 (単位 千円)	建 物	3		9,726	1,231	154,573		45	31	2,010	42,526	4	160	210,309
	林 野													
	車 両	29		160					578				15	782
	船 舶													
	航空機													
	その他 (爆発を含む)	44		53	1	3,550		514	5	27	11		1	4,206
	計	76		9,939	1,232	158,123		559	614	2,037	42,537	4	176	215,297

※負傷者に、30日死者含む。

## 時間別出火件数



## 曜日別出火件数



## 火元建物用途別火災状況

建物用途	出火件数	焼損棟数					焼損面積		死者負傷者		り災世帯数				り災人員	損害額 (千円)
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		
合 計	38	43	6	1	13	23 (※)	2,451	67		17	20	1		19	60	210,307
住 宅	8	8			3	5	12	2		3	8			8	20	448
併 用 住 宅	1	1				1					1			1	6	19
共 同 住 宅	8	8			2	6	36	9		7	8	1		7	28	2,978
飲 食	3	2				2				1	1			1	1	13
神 社・寺 院	1	1			1			3			1			1	4	53
工 場	11	16	2	1	7	6	2,351	53		1						206,204
倉 庫	1	1	1				12									36
事 務 所	2	2				2				3						
複 合 用 途 ( 非 特 定 )	1	1				1				1	1			1	1	15
そ の 他	2	3	3				40			1						541

※その他火災による延焼棟（ぼや1棟、損害額111千円）除く。

損害額は延焼した車両等の損害額（109千円）を含む。

## 覚知方法別出火件数

総数	火災報知専用電話 (固定電話)	火災報知専用電話 (携帯電話)	加入電話	巡回中 発見	駆け付け 通報	事後聞知	その他の 通知
69	25	27	2			15	

## 出火原因別損害額状況

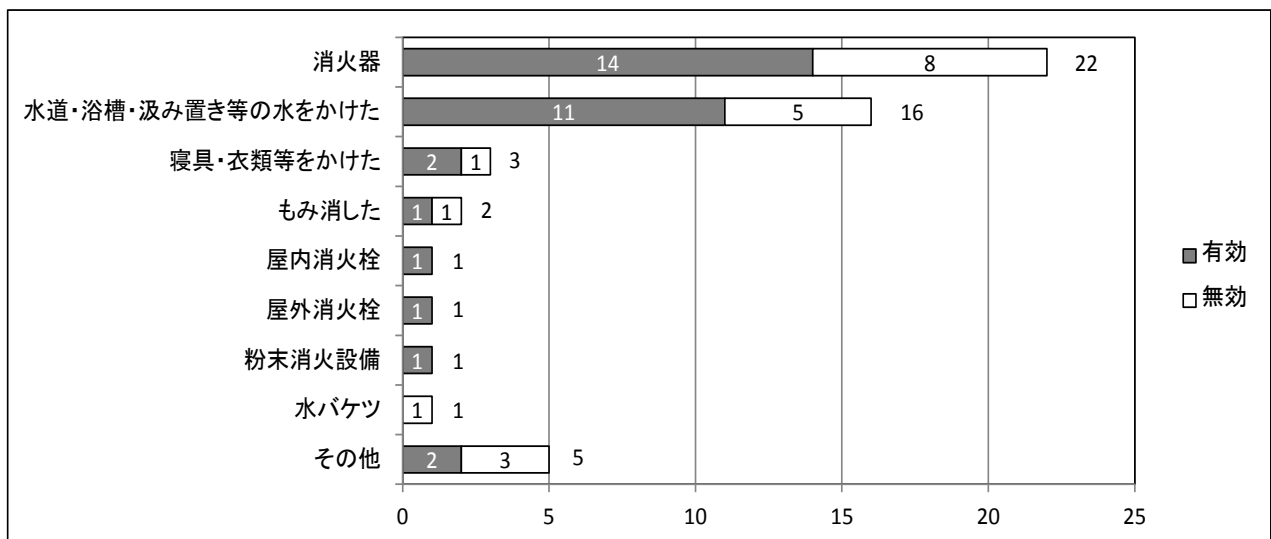
	建物		車両	林野	その他	計	損害額 (千円)
		住宅					
こ ん ろ	9	7				9	199
放 火	3		1		4	8	175
た き 火	1			1	4	6	12
火 あ そ び	1	1			4	5	106
た ば こ					4	4	
マッチ・ライター	4	3				4	15
放 火 の 疑 い					2	2	
電灯・電話等の配線	1	1			1	2	19
電 気 装 置	1				1	2	814
電 気 機 器	2					2	2
配 線 器 具	1				1	2	164
取 灰	1				1	2	2
灯 火	1	1				1	94
溶 接 機 ・ 切 断 機	1					1	9,710
焼 却 炉	1					1	541
衝 突 の 火 花			1			1	
ス ト ー ブ	1	1				1	4
そ の 他	7	2	2		3	12	47,494
不 明 ・ 調 査 中	3	1	1			4	155,946
計	38	17	5	1	25	69	215,297

※住宅に併用住宅、共同住宅を含む。

## 初期消火の実施状況

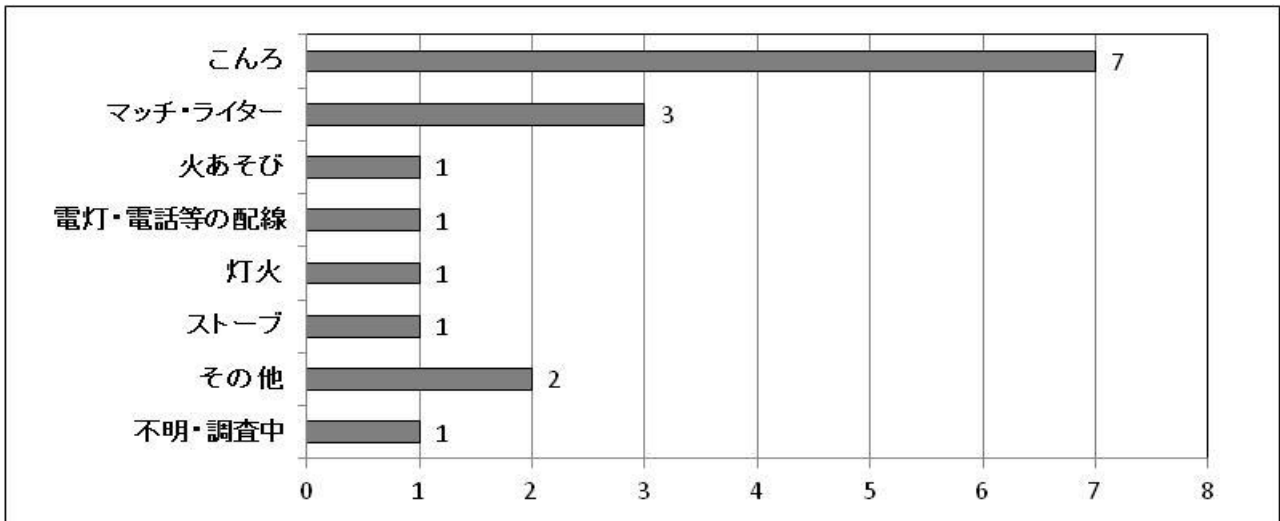
火災件数69件のうち、初期消火が行われた火災は52件で、そのうち初期消火に効果があったものは33件でした。

初期消火の対応方法として、最も多かったのが「消火器」及び「水道・浴槽・汲置等の水をかけた」で、全体の約73%を占めています。



## 住宅火災における出火原因

住宅火災（住宅、併用住宅及び共同住宅）１７件の出火原因をみると、「こんろ」７件、「マッチ・ライター」３件の順になっています。



## 住宅用火災警報器の設置状況

住宅火災のうち、住宅用火災警報器を設置していなかった住宅は５件で、負傷者１人となっています。

（損害額単位：千円）

	住宅用火災警報器								自動火災報知設備			
	設置	損害額	死者	負傷者	未設置	損害額	死者	負傷者		損害額	死者	負傷者
住 宅	3	138		2	5	310		1				
併用住宅	1	19										
共同住宅	4	113		4					4	2,865		3
計	8	270		6	5	310		1	4	2,865		3

※自動火災報知設備が設置されている共同住宅は、住宅用火災警報器の設置免除。

## 火災による死者発生状況

火災による死者は３人発生しており、その内訳はすべてその他火災となっています。

火災種別	年齢区分	起床	発生経過	備考
その他	36～40歳	起床中	放火自殺	
その他	71～75歳	起床中	放火自殺	
その他	81～ 歳	起床中	たき火中	着衣着火